

岡山市市民協働フォーラム

第1部 地域での協働を考える

～協働が地域を元気にする～

第1部では、事例報告や講演を聞きながら、地域団体の方、NPO法人の方々、行政職員と一緒に地域での協働について学びました。

■事例報告

- (1) 吉備・陵南まちかど博物館
- (2) かのさと体験観光協会

■講演

自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために
—協働の基礎を再確認する—

講師 川北秀人さん IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表

岡山市市民協働フォーラム

第2部 岡山市の未来と協働の可能性を見いだそう

～ワールドカフェ～

第2部ではNPO法人の方々と行政職員と一緒に、岡山市の協働について5つのグループを作り、行政職員がすべてのグループを回りながら、次のテーマで話をしました。

- 1 岡山市が協働を本気で進めなきゃいけない3つの理由
- 2 岡山市で協働が進まない5つの理由
- 3 岡山市で協働を進めるために不可欠な3つの取組
- 4 岡山市で協働が有効に機能されると期待される3つのテーマ

岡山市が協働を本気で進めなきゃいけない 3つの理由

- ① お金がない
- ② 人が足りない
- ③ 対応スピードが遅い

- ① 職員が減っている
- ② 予算にかぎりがある
- ③ できる事にかぎりがある

- ① 財政が厳しい
- ② (職員も人口 市民)
人が少ない 成り立たない
- ③ 多様化には多様化で

- ① 財政収入源 職員減
- ② サービスの多様化
- ③ 社会構造、環境変化への対応

- ① 財政減・職員が少ない
- ② 福祉施策 子育て支援 高齢者福祉
- ③ 地域資源の発見PR

その他の意見

- ・ 産業・雇用の充実
- ・ 今受けているサービスの継続
- ・ 高い行政サービスを求められている
- ・ 市民が協働での問題解決を求めている

協働推進担当課の意見

財政減や予算減といった要因の認識が高く、一方で、社会環境の変化に伴い求められているサービスの多様化に対応するために、協働を本気で進めなければなりません。

岡山市で協働が進まない5つの理由

- ① トップ
- ② しきみがない
- ③ 学ぶ機会がない
- ④ お互いを知らない(出会いがない)
- ⑤ 負担感
クレーマーの意見に押される (市民がこわい)

- ① 専門性を持っている職員が代わる
- ② 情報不足(お互い)
- ③ 官民の壁
- ④ 連携が無い
- ⑤ 組織のしがらみ

- ① 必要性を感じていない
無知・無関心
- ② 流れ・ルール・仕組みがない
- ③ 問題解決に向け部署をまたがる機能がない
- ④ 仕事がいそがしすぎる。めんどろである。
- ⑤ 将来のビジョンが見えない

その他の意見

- ・ NPOの情報不足・連携不足
- ・ 議員、市長の理解...

- ① 相互の認識不足
- ② ルールが作られていない
- ③ トップの考えがない
- ④ 時代に対応できてなかった
- ⑤ やりたい事に対する担当課がなかった

- ① 施策を考える上で、協働のことを考えていなかった
- ② NPOの協働の理解が進んでいない
- ③ ルールが無い
- ④ お互いに情報が無い
- ⑤ 民間の行政の知識が無い

協働推進担当課の意見

ルールや仕組みが無く、情報不足という要因が多いことから、協働を進めるために協働の仕組みづくりを行い、積極的に情報発信を行っていきます。

岡山市で協働を進めるために不可欠な 3つの取組

- ① 場
出会い 学び 知る
- ② コーディネートできる仕組み
- ③ ガイドブックで知ってもらう

- ① ルール作り
- ② プラットホーム作り
- ③ 担当課作り

- ① 推進するルール・仕組・ツール
- ② 情報の共有化
- ③ 費用、職員の作業の低減

その他の意見

- ・ コーディネート部署、専任職員配置
- ・ 将来の目標設定

- ① 仕組みづくり
 - ・ 行政は公平さが重要なので、企画の段階から公募できるようなシステム
- ② 情報の共有
 - ・ お互いに情報交換する場を
 - ・ 区の場合は職員がいくつも仕事を担当していてなかなか情報を整理できない
- ③ コーディネートするセクションの設置
 - ・ 窓口の明確化

- ① 総合窓口(コーディネーター)
- ② 情報共有の場(お互い頑張れる信頼関係)
- ③ 目標と評価

協働推進担当課の意見

ルールや仕組みづくりはもちろんのこと、今回のような研修等を通じての情報共有の場づくりを引き続き行うとともに内容の充実を図り、また、コーディネートできる仕組みづくりの検討も行っていきます。

岡山市で協働が有効に機能されると期待される3つのテーマ

- ① 子育て支援
- ② 食・農
- ③ 防災(安全・安心)

- ① 過疎化の対策
- ② 交流の場づくり(高齢者等)
- ③ 子どもの防犯

- ① 地域活性化
- ② 子育て
- ③ 元気なお年寄り(医療費減)

その他の意見

- ・ イベント企画運営 提案
- ・ 高齢者の生きがいづくりの企画

- ① 公園・図書館・観光
- ② 子育て・高齢者福祉支援
- ③ 安全・安心なくらしづくり提言
防災・防犯

- ① イベントの企画・運営
- ② 福祉(高齢者、子ども、外国人、障がい etc)
- ③ 世界にひらかれた政令指定都市

協働推進担当課の意見

協働できるテーマは多様であることから、NPO法人の行政と「こんなことができますリスト」を活用し、行政が抱える課題とのマッチングを図り、協働することにより生み出される効果を共有し、そのノウハウを蓄積していきます。

まとめ

平成24年8月に第1回目の市民協働フォーラムを開催し、その間に研修を開催しながら、今回は第2回目のフォーラムとして、第1部では地域での協働の事例報告を交えての講演、第2部では行政との協働の事例報告や「こんなことができますリスト」に掲載されたNPO法人の1分間スピーチ、ワールドカフェといった内容で開催しました。

岡山市における協働が進まないのはなぜか、進めるためにはどうすればいいかということをもNPO法人と行政職員が共に考え、意識を高めていくとてもいい機会とさせていただいたと思います。

いただいたご意見を活かしたものとするために、情報を共有しながら協働を進めるための取組みを具体化し、今年度から設置した、庁内組織である「岡山市市民協働推進会議・ワーキングチーム」、公募のNPO法人の方々に組織される「岡山市・NPO協働推進協議会」のお力をお借りしながら、協働推進担当課としての責務を果たしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。